

# 平成28度 長野県東御清翔高等学校評価表

学校教育目標	中・長期目標
誠実にして勤勉、謙虚にして明朗、平和を愛し、国家・地域社会の有為な形成者の育成を図る。	1 学力の確実な定着を図り、多部制単位制の充実と発展に努める。 2 生徒一人ひとりを大切に、きめ細かな教育を実践する。 3 地域からの信頼を高め、地域を担う人材を育成する。
	今年度の重点目標
	1 日々の学習成果を実感できる授業の実践に努める。 2 いじめ・体罰のない、生徒にとって安心安全な環境を確立する。 3 基本的な生活習慣の確立と自律的に行動できる力を育成する。 4 生徒の進路希望実現のための計画的進路指導を展開する。 5 地域との連携・交流と活力ある学校づくりを推進する。

総合評価			
下記の観点にしたがって反省し、4段階に評価し改善を図っていく。			
A	十分な成果をあげた(十分である)	C	あまり成果があがらなかった(やや不十分である)
B	ほぼ成果をあげた(概ね良い)	D	成果があがらなかった(不十分である)

領域	対象	評価項目(関連する重点目標)	評価の観点	評価	成果・課題
教 育	学習指導	(1) 落ち着いた学習環境づくりと授業内容・指導方法の研究と工夫(1)	授業を大切にする3・6・9ルール等の指導により、授業に集中して取り組む態度が身に付いたか。	C	・全体的に授業に取り組む姿勢は良い。 ・集中して取り組むことが苦手な生徒に対しては、教員が情報を共有しチームとして指導にあたる。
			授業内容・授業方法について研究・工夫に努め、生徒が意欲的に授業に取り組むことができたか。	B	・「アクティブ・ラーニング」の授業実践や研究者による模擬授業等による研修に取り組んでいる。 ・授業アンケート(年2回)により生徒のニーズを把握し、各教科で授業内容・方法の検討を行う。
	(2) 生徒一人一人の能力と個性の伸長(1・4)	少人数・習熟度編成授業や体験型授業を生かして生徒の能力や個性を伸ばすことができたか。	B	・双方向のやりとりを交えながら楽しい授業だと実感できることが多い。 ・生徒の学力差、個々の状況に配慮した授業の研究・工夫が必要である。	
		読書活動や各種資格試験・検定、校外学習に、生徒が意欲的に取り組み、その成果を認定できたか。	C	・検定等に意欲的に取り組む生徒に限られており、十分とは言えない面がある。 ・生徒に資格等の重要性や取得により得られる達成感をもっと伝えなくてはならない。	
活 徒 指 導	生徒	(1) 生徒間及び生徒教師間の良好な人間関係の構築(2・3)	いじめや暴力、体罰等のない良好な人間関係を築けたか。	A	・少人数教育のため、生徒一人ひとりに対応できる時間があり、手が入りやすい。 ・職員の研修・交流が盛んに行われており、職員会等で誰でも自由に発言できる雰囲気がある。
			携帯電話やインターネット等情報通信機器の使用方法について正しい知識を持ち、適切に利用したか。	D	・SNSの使い方については継続的な指導が必要である。 ・ネットリテラシー教育と共に本来の道徳教育による倫理観の育成が重要である。
	(2) 自律的な判断力・行動力の養成(3)	制服着用のルールを順守し、無断欠席・遅刻・早退・外出をなくし、規律ある学校生活を送ることができるようになったか。	D	・以前に比べ向上していると思われるが、一部の生徒にルールを守れていない状況がある。 ・規律違反が常習化している生徒に対しては、教員が情報を共有しチームとして指導にあたる。	
		社会人としての意識を持ち、校外においても交通法規や社会のルール、公共のマナーを守れるようになったか。	B	・以前に比べ向上していると思われるが、一部の生徒に守れていない状況がある。 ・公共マナーの遵守については、継続的に生徒に呼びかけていく必要がある。	

教 育 活 動	進 路 指 導	(1) 生徒の進路志望の実現(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学希望者の志望校への合格、就職希望者の卒業までの就職先決定が達成できたか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職希望者は全員決定し、生徒の進路希望をほぼ叶えることができている。</li> <li>保護者と生徒との進路希望が早い時期から一致するように、指導のあり方の検討を行う。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導体制について、校内での意識統一と協力・連携が十分図られたか。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識統一と協力・連携はまだ不十分であり、学年の枠を越えた指導体制づくりを一層進める必要がある。</li> </ul>
	(2) キャリア教育の充実(4・5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1～4年次の成長段階に応じた勤労観・職業観を養い、生徒の個々のライフプランニングができたか。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年が進めるキャリア教育が学校組織としての取組になるよう、係が全体計画(キャリア・トウミ・システム)を立てている。</li> <li>内容を精選するとともに、各学年・各系の連携を進めたい。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>就業体験、奉仕体験活動等、地域社会とも連携協力してキャリア形成に必要な能力や態度を育むことができたか。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね良好である。</li> </ul>	
	特 別 活 動	(1) クラブ活動の活性化(3・5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブに加入し、日常の活動や、各種大会、行事への参加を通して生徒個々の成長が見られたか。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>バレーボール、陸上、剣道、テニス等の運動部を中心に活動が活発化した。</li> <li>もう少しチャレンジする場が増えれば良いと思う。</li> </ul>
		(2) 生徒会活動の充実(3・5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会行事の企画運営を通して、コミュニケーション能力や自己表現力等の社会人基礎力を養成できたか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常によく取り組んでいる。</li> <li>各行事の企画運営を通して生徒の成長が見られる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTAや地域の諸行事等の校外活動に積極的に取り組み、交流、連携を通して、地域社会への貢献ができたか。</li> </ul>		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域とのかかわりの取組はできており、東御市との連携も年々深まってきている。</li> </ul>	
学 校 運 営	特 色 あ る 学 校 づ く り	(1) 多部制単位制の充実(1・5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>多部制・単位制の特色を生かした教育課程を編成することができたか。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路希望に対応した多様な科目が選択できるような教育課程を編成している。</li> <li>多部制・単位制の特色を生かした教育課程の編成について研究を進める。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>入学者選抜において、本校の特色を理解し学びたいという志願者を確保することができたか。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定的に志願者を確保するために、特色・魅力ある学校づくりをさらに進めるとともに、入学者選抜のあり方について検討する。</li> </ul>
	開 か れ た 学 校 づ く り	(1) 広報活動の充実(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業、体験入学、学校説明会等を通して、本校への理解を深めてもらうことができたか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会、個別相談会の参加者が増え、本校への理解度も高くなっている。</li> <li>午後部への理解を進めるために、更なる広報が必要である。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>東御清翔トピックスやホームページなどを通じ、学校の様子を広く知らせることができたか。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>校外への広報をHP以外の印刷物で行うことを検討する。</li> </ul>
		(2) PTA・同窓会及び地域との交流と連携(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評議員、地域モニター、及び「東御清翔を育てる会」の提言助言を教育活動に活かすことができたか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も「育てる会」での地域からの提言・助言等を学校改善に活かしていく。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者・同窓会員・地域社会に学校の教育活動について周知し学校行事等への理解と協力は得られたか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員を中心としたPTAの方々の協力はここ数年目覚しく、大変ありがたい。</li> <li>学習発表会の広報・案内(時間、内容など)をもっとできるとよい。</li> <li>創立100周年に向けた体制作りを、同窓会と連携して進める。</li> </ul>